

日本連続増配成長株オープン[®]の運用状況

日本連続増配成長株オープン
追加型投信／国内／株式

2016年2月26日

2015年10-12月期の日本企業の決算発表が概ね一巡しました。当レポートでは日本企業の業績動向と日本連続増配成長株オープン[®]の運用状況についてご報告致します。

1. 日本企業の業績動向

【図表1】JPX日経インデックス400採用企業の業績見通しの修正状況

	予想一株当たり純利益	比率
上方修正	85社	25.8%
下方修正	69社	21.0%
変更なし	175社	53.2%
合計	329社	100.0%

	予想一株当たり配当	比率
上方修正	17社	5.2%
下方修正	3社	0.9%
変更なし	309社	93.9%
合計	329社	100.0%

※3月決算のJPX日経インデックス400採用企業の2015年末時点と2016年2月23日時点との2016年3月期の会社予想を比較
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【図表2】連続増配企業の業績見通しの修正状況

	予想一株当たり純利益	比率
上方修正	22社	17.9%
下方修正	22社	17.9%
変更なし	79社	64.2%
合計	123社	100.0%

	予想一株当たり配当	比率
上方修正	7社	5.7%
下方修正	1社	0.8%
変更なし	115社	93.5%
合計	123社	100.0%

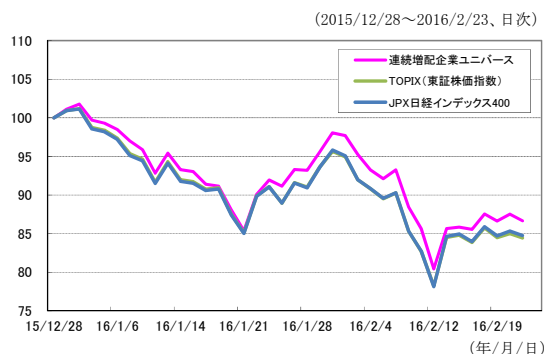
※連続増配企業ユニバースのうち3月決算企業の2015年末時点と2016年2月23日時点との2016年3月期の会社予想を比較
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

1月中旬から2月中旬にかけて日本企業の2015年10-12月期の決算が発表されました。そのなかでは、特に外需関連企業において、中国を中心とする海外の景気減速を受けた業績見通しの下方修正が相次ぎました。3月決算のJPX日経インデックス400採用企業329社のうち約21%にあたる69社が、2016年3月期の一株当たり純利益の見通しを下方修正しました。一方で、通期の配当予想を下方修正した企業数は1%以下の3社にとどまっており、ここからも企業の株主を重視する姿勢が伺えます【図表1】。

なお、当社が独自に選定した連続増配企業ユニバース[®]のうち3月決算企業123社の業績見通しの修正状況を見てみると、2016年3月期の一株当たり純利益の見通しを下方修正した企業は、20%以下の22社にとどまっています。連続増配の実績がある企業は外部環境が悪化する局面でも、相対的に底堅い業績推移となっていると考えられます【図表2】。株価も同様に、国内の主要株価指数を上回る推移となっています【図表3】。

※連続増配企業ユニバース:全上場銘柄のうち一定の時価総額や流動性がある企業から、普通配当の増配期間が長い銘柄を選定。2月23日時点では5期以上連続で増配を行っている176銘柄を選定しています。

【図表3】連続増配企業と国内主要株価指数の推移



※連続増配企業ユニバースの指数は採用企業の株価騰落率の単純平均を日次で算出し計算
※当ファンドの設定日(2015年12月28日)を100として指数化
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

2. 2月以降の当ファンドの運用状況

2月の国内株式市場は、日本企業の2015年10-12月期の決算発表が本格化するなかで企業業績の悪化が意識されたことなどから、軟調な相場展開となっています。当ファンドの運用につきましては、日本連続増配成長株マザーファンドを通じた実質株式組入比率を概ね80%台後半の抑制的水準としたほか、株式の流動性の低い銘柄の組入比率を引き下げるなど慎重姿勢での運用を継続しました。また、業種別では日銀のマイナス金利導入により業績の先行き不透明感が強まったと考え金融株の組入比率を引き下げた一方、外部環境の影響を受けにくいと考えられる医薬品株などの組入比率を引き上げました。

今後の国内株式市場につきましては各国の政策に対する期待などを受けて上昇する局面と、来期の企業業績への警戒感などから下落する局面が交互にやってくる方向感に乏しい展開になることが想定されます。引き続き慎重姿勢での運用を継続する方針です。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本連続増配成長株オープン
追加型投信／国内／株式

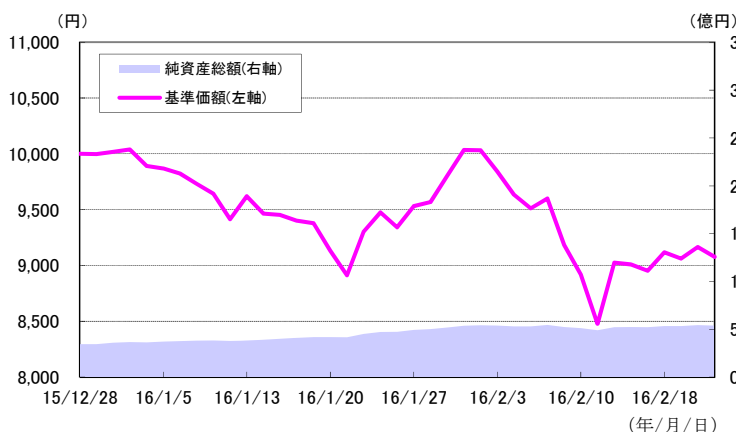
日本連続増配成長株オープンの特色

- 日本連続増配成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本の連続増配銘柄（一定期間にわたり1株あたりの普通配当金が每期増加している企業の株式をいいます。）に投資を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、連続増配期間の長さ、時価総額、信用リスク、流動性等を考慮して行います。
- ポートフォリオの構築にあたっては、成長性、バリュエーション等のほか、今後の連続増配の持続可能性を勘案して行います。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。
- 株式以外の資産の実質投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。

運用状況（作成基準日：2016年2月23日）

■ 基準価額の推移

（2015/12/28～2016/2/23、日次）



■ ファンドの状況

基準価額	9,078円
純資産総額	5,390,268,342円
マザーファンド組入比率	93.4%
実質株式組入比率	87.7%
組入銘柄数	72銘柄
平均連続増配期間	8.7期

※基準価額は1万口当たりです。

※平均連続増配期間は組入銘柄の平均連続増配期間です。

■ 組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	小売業	13.2 %
2	情報・通信業	11.9 %
3	サービス業	11.7 %
4	化学	9.9 %
5	食料品	6.4 %
6	機械	5.9 %
7	電気機器	5.5 %
8	医薬品	5.1 %
9	輸送用機器	3.3 %
10	卸売業	3.2 %

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する実質比率です。

■ 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	連続増配期間	構成比
1	日本たばこ産業	10期	4.5 %
2	花王	15期以上	3.2 %
3	KDDI	13期	3.2 %
4	カカクコム	11期	2.6 %
5	西日本旅客鉄道	5期	2.6 %
6	ヤフー	10期	2.3 %
7	シスメックス	8期	2.2 %
8	ユニ・チャーム	12期	2.0 %
9	エービーシー・マート	8期	2.0 %
10	日産自動車	5期	1.9 %

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する実質比率です。

※連続増配期間は、Bloombergとロイターのデータを基に岡三アセットマネジメントが独自の手法により算出したものです。

（作成：エクイティ運用部）

＜本資料についてご留意いただきたい事項＞

■ 本資料は、「日本連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本連続増配成長株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。
- <お客様が信託財産で間接的に負担する費用>
- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.5552%（税抜1.44%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	東海財務局長(金商)第5号	○			
ごうぎん証券株式会社	中国財務局長(金商)第43号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
上光証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
廣田証券株式会社	近畿財務局長(金商)第33号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
(登録金融機関)					
株式会社西京銀行	中国財務局長(登金)第7号	○			

※水戸証券株式会社は、2016年3月1日から取扱い開始です。

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)